

平成 30 年度岩手県中堅期保健師研修会プログラム

第 1 回 [平成 30 年 12 月 7 日 (金)]

会場：岩手県看護研修センター 3 階研修ホール

《目標》 中堅期の保健師としての役割責任をわかり、職業観の醸成と専門職として自ら学ぶ姿勢を確立する。

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:00		(開場)		
全体	9:25～9:30		オリエンテーション	進行：赤石 幸絵	
	9:30～9:35	挨拶	挨拶	公益社団法人岩手県看護協会 会長 及川吏智子	
	9:35～11:00 (85 分)	講義	ー公開講座ー 「中堅期保健師に期待される役割と責任」	講師：武蔵野大学看護学部 教授 中板 育美 氏	
	11:00～12:30 (90 分)		ー公開講座ー 平成 30 年度岩手県中堅期保健師コンサル テーションプログラム 活動成果の発表 8 事例	発表者： コンサルテーション 受講者 8 名	○地域の健康課題の分析 や住民ニーズに基づく組 織的な活動の実践を学 ぶ
	12:30～13:30 (60 分)		(昼食)		
全体	13:30～13:40	説明	グループワークの目的と進め方の説明	進行：赤石	
全体	13:40～14:40 (60 分)	行政説明	「岩手県における保健師現任教育の現状 と今後の動向」	岩手県保健福祉 部健康国保課 主査 豊間根 美恵氏	○本県における保健師人 材育成の現状と課題を 知り、これからの動向に ついて学ぶ
	(10 分)	休憩			
グループ	14:50～15:50 (60 分)	個人ワーク (10 分) グループワーク (40 分) 発表・全体 討議 (10 分)	○個人ワーク ○自己紹介 ○グループワーク 「職場の現任教育の現状と課題を考え る」	ポーター： 岩手県看護協会 保健師職能委員	○個人の研修履歴を振り 返る ○職場の現任教育の現状 を把握し、課題を整理し 今後のあり方を検討す る ○今後の自己研鑽のあり 方を模索する
全体	15:50～16:00 (10 分)		事務連絡・アンケート		

第2回目 [平成31年1月18日(金)] 会場：アイーナ(いわて県民情報交流センター)7階
岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室1

《目標》 中堅期保健師としての自己を振り返り、専門職としての今後の活動の方向を確立する。

	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:30	(開場)			
	9:55~10:00		オリエンテーション	進行：赤石 幸絵	
全体	10:00~10:45 (45分)	話題提供1	職場内における中堅期保健師としての役割～私が取り組んでいること～	花巻市健康づくり課保健師 寺林 直子氏	○実践報告から中堅期保健師のあり方を学ぶ
全体	10:45~11:30 (45分)	話題提供2	職場内における中堅期保健師としての役割～私が取り組んでいること～	奥州市健康推進課保健師 佐藤 景 氏	○実践報告から中堅期保健師のあり方を学ぶ
全体	11:30~11:50 (20分)	質疑応答	話題提供1・2に関する質疑応答		
	11:50~12:50 (60分)	(昼食)			
全体	12:50~13:00 (10分)	説明	グループワークの目的、進め方説明	進行：赤石	
グループ	13:00~13:10 (10分)	個人ワーク	「これまでの活動の自己評価」		○これまでの活動を振り返り達成度を評価する(岩手県人材育成指針自己評価シート)
	13:10~13:55 (45分)	グループワーク (30分) 発表・全体討議 (15分)	○自己紹介、アイスブレイク ○グループワーク テーマ1 「これまでの活動の自己評価をしよう」	進行：ホーター 岩手県看護協会 保健師職能委員会	○評価から自己の得意、不得意を明らかにし、特性を知る。グループダイナミクスから学びを深める
	(10分)	休憩			
グループ	14:05~14:50 (45分)	グループワーク (30分) 発表・全体討議 (15分)	○グループワーク テーマ2 「私のこれまでの活動を振り返る」	進行：ホーター 岩手県看護協会 保健師職能委員	○保健活動の「見える化」により保健師の能力向上に与えている要因を学ぶ
	(10分)	休憩			
全体	15:00~15:50 (50分)	グループワーク (35分) 発表・全体討議 (15分)	○グループワーク テーマ3 「目指す保健師」・「目指す活動」	進行：ホーター 岩手県看護協会 保健師職能委員	○地域保健活動を発展させる要因について言語化し保健師像をイメージし、モチベーションの向上やアイデンティティの強化につなげる
全体	15:50~16:00		事務連絡・アンケート		